

# 語学ビジネス市場に関する調査を実施（2017年）

医薬・特許関連翻訳ビジネス、大学入試制度改革を背景に幼児・子供向けサービス好調

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内における外国語学習に関わるビジネスの調査を実施した。

1. 調査期間: 2017年4月～6月
2. 調査対象: 外国語学校、出版社、電子辞書メーカー、ソフトウェアメーカー、e-learning事業者、通信教育事業者、語学学習教材販売事業者、資格試験運営団体、留学斡旋業者、通訳・翻訳ビジネス事業者等
3. 調査方法: 当社専門研究員による直接面談取材及び、電話・FAXによるヒアリング、文献調査併用

### <語学ビジネス市場とは>

本調査における語学ビジネス市場とは①成人向け外国語教室市場、②幼児・子供向け外国語教室市場、③プリスクール市場、④幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場、⑤書籍教材市場、⑥語学独習用機器・ソフト、⑦電子辞書市場、⑧幼児向け英会話教材市場、⑨通信教育市場、⑩e-learning市場、⑪ソフトウェア市場、⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・通訳ビジネス市場の主な14分野を対象とする。

なお、⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・通訳ビジネス市場については語学関連サービスとして、周辺ビジネスと定義している。

## 【調査結果サマリー】

### ◆2016年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は前年度比102.7%の8,498億円

2016年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比102.7%の8,498億円であった。前年度に引き続き、幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣、幼児向け英会話教材市場)が堅調な推移を示すとともに、e-learning市場が二桁増と活況を呈している。また周辺ビジネスである通訳・通訳ビジネス市場も引き続き、好調に推移している。

### ◆2017年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は

前年度比102.2%の8,682億円を予測

2017年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比102.2%の8,682億円を予測する。小学校の英語必修化や大学入試制度改革に伴い、今後、英語を学ぶ子どもの数は増加するとみられることから、幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣、幼児向け英会話教材市場)を中心に語学ビジネスの市場全体は堅調に推移すると予測する。

### ◆資料体裁

資料名:「語学ビジネス徹底調査レポート2017」

発刊日:2017年6月30日

体裁:A4判 538頁

定価:120,000円(税別)

### ◆株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:[press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

## 【調査結果の概要】

### 1. 市場概況と将来展望

2016年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は、事業者売上高ベースで前年度比102.7%の8,498億円であった。

ここ数年は、次期学習指導要領を背景に、小学校における英語必修化や大学入試制度改革など、学校教育における英語教育が大きく変化していくことから、幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣、幼児向け英会話教材市場)関連が好調に推移している。またe-learning市場も規模はまだ小さいものの、二桁成長を記録した。周辺ビジネスについても翻訳・通訳ビジネス市場などを中心に好調に推移した。

翻訳・通訳ビジネス市場はグローバル化の進展に伴い、英訳・日本語訳の案件を中心に翻訳ニーズが引き続き拡大傾向にある。大手翻訳事業者では、製造業、特許・知財、メディカル(医療・医薬関連)、金融、IT・通信分野、法務・IR分野関連などの案件が増えており、なかでも医薬品分野や特許・知財分野における翻訳案件が好調であった。

2017年度の語学ビジネス総市場規模(主要14分野合計)は前年度比102.2%の8,682億円を予測する。小学校の英語必修化、大学入試制度改革の影響から、少子化ではあるものの、英語を学ぶ子どもの数は増加するとみられることから、引き続き幼児・子供向けサービス(幼児・子供向け外国語教室、プリスクール、幼稚園・保育園向け英語講師派遣、幼児向け英会話教材市場)を中心に語学ビジネスの市場全体は堅調に推移するものと予測する。

### 2. 主要分野の動向

#### 2-1. 幼児・子供向け外国語教室市場

2016年度の幼児・子ども向け外国語教室の市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比102.0%の1,030億円であった。

2017年3月末日に文部科学省から次期学習指導要領が公示され、小学校の英語教育においては3年生から必修化、5年生から教科化される。この英語学習時期の早期化と同時並行で大学入試改革も行われ、読む、聞く、書く、話すといった4技能を測定する方向で議論が進んでいる。

こうした状況下、子どもたちの将来を思う保護者層の早期英語教育熱が高まっていることから、今後も英語を学習する生徒は増加傾向にあるものとみる。一方で生徒獲得のため、参入事業者間での競争は一層激しさを増しており、なかには生徒数を減らす事業者も散見される。

2017年度についても、同様の傾向は続いており、同市場規模は前年度比101.9%の1,050億円を予測する。

#### 2-2. e-learning 市場

2016年度のe-learningの市場規模(事業者売上高ベース)は、前年度比112.5%の90億円であった。

2015年度後半以降、e-learning市場の大部分を占めるオンライン英会話でいったん鈍化がみられたが、2016年度は再び活況を呈している。大手インターネット通販事業者の英語事業への参入や、Skype英会話やスマートフォン、タブレットPC向けアプリケーションの提供など、参入する事業者は依然として増加傾向にある。こうしたなか、自社でオンライン英会話サービスシステムを開発することで、質の高いサービスの維持向上に努める事業者や、レッスン回数無制限、且つ低価格で提供する事業者など、ユーザー(受講者)側の使い勝手を考慮したアプリケーションサービスで幅広いユーザー層を開拓し、他社との差別化を図る事業者もあり、参入事業者間における競争が増している。

今後もこうした傾向が続くものとみられることから、2017年度のe-learning市場規模は前年度比111.1%の100億円を予測する。

表 1. 語学ビジネス市場分野別市場規模推移

(単位:億円)

市場分野	市場定義	2015年度	2016年度	2017年度 (予測)	
<b>■ 語学スクール</b>					
外国語教室全体市場	外国語習得のための民間および公的機関による教室・スクール・市民講座等を対象とする	3,440	3,490	3,535	
①成人向け外国語教室市場	ビジネスニーズ市場	2,090	2,100	2,110	
	趣味・教養ニーズ市場	810	815	820	
	マンツーマンレッスン市場	360	365	370	
	グループレッスン市場	1,730	1,735	1,740	
	②幼児・子供向け外国語教室市場	0歳～中学生を対象とした外国語教室とし、同教室で利用する教材を含む、なおプリスクールを除く	1,010	1,030	1,050
③プリスクール市場	英語のみで教育・保育・託児を行う幼稚園や保育園、託児所とし、対象年齢は0歳から就学前とする	340	360	375	
④幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場	幼稚園・保育園を対象に、課内/課外プログラムとして英語レッスンの提供を行うサービス	35	36	37	
<b>■ 学習教材</b>					
⑤書籍教材市場	語学関連の書籍、参考書、辞書及び文部科学省検定試験に合格した英語教科書を対象とし、学校採用分を含む	386	383	381	
⑥語学学習用機器・ソフト	語学学習専用機器とセット販売による教材を対象とする。なおセット販売以外を除く	201	198	195	
⑦電子辞書市場	電子辞書機器を対象とし、パソコンや携帯端末に搭載されたアプリケーションソフトを除く	532	513	513	
⑧幼児向け英会話教材市場	主に0歳から就学前の幼児向けに特化したセット販売による英語教材を対象とし、英会話教室の教材を除く	290	307	320	
⑨通信教育市場	紙媒体を利用して添削を行う、語学学習の通信講座・通信教育を対象とし、添削を伴わないものを除く	220	200	195	
	社会人向け通信教育	社会人向け通信教育で、通信教育市場の内数	90	85	80
	学生向け通信教育	受験用・学生向け通信教育で、通信教育市場の内数	130	115	115
⑩e-learning市場	PCやモバイル端末で学習する語学学習用e-learning	80	90	100	
⑪ソフトウェア市場	語学学習を目的としたパソコン・ゲーム機向けソフトウェア	27	25	26	
	ゲーム機向けソフトウェア	ゲーム機向けの語学学習用ソフトウェアを対象とし、ソフトウェア市場の内数	11	10	9
	パソコン向けソフトウェア	パソコン向けの語学学習用ソフトウェアを対象とし、ソフトウェア市場の内数	16	15	17
<b>■ 周辺ビジネス</b>					
⑫語学試験市場	各外国語言語の資格試験等を対象とする	240	241	250	
⑬留学斡旋市場	留学ビジネス・留学エージェント事業を対象とする	210	220	230	
⑭通訳・翻訳ビジネス市場	通訳・翻訳に関わるビジネスを対象とする	2,611	2,795	2,900	
語学ビジネス市場 ※周辺ビジネス(⑫語学試験市場、⑬留学斡旋市場、⑭通訳・翻訳ビジネス市場)を除く		5,211	5,242	5,302	
語学ビジネス総市場(主要14分野合計)		8,272	8,498	8,682	

矢野経済研究所推計

注 1. 事業者売上高ベース

注 2. (予測)は予測値